



新たな森林づくりコンクール2021受賞者

◆技術部門



●開発の取組

【林野庁長官賞】

一般財団法人 広島県森林整備・農業振興財団 (広島県)		 <p>コウヨウザンのコンテナ苗生産</p>  <p>スギの約2倍の成長が期待できる</p>
名称	「コウヨウザン造林推進のための苗木生産技術の開発」	
概要	広島県樹苗農業協同組合と共同で、国内初めての取組となるコウヨウザンの大規模なコンテナ苗生産（マニュアル作成）、モデル林造成、採種園・採穂園整備を行った。 コウヨウザンは、成長がスギの約2倍の早生樹であり、萌芽更新も可能なことから、今後の造林樹種の1つとして期待されている。現在、全国で植栽されるようになっており、本取組はその先駆けとなった。	

●導入普及の取組

【全国林業改良普及協会会長賞】

大分県森林組合連合会 (大分県)		 <p>ドローンによる施業図作成を推進</p> 
名称	「造林事業に係る現地調査DX」	
概要	ドローン測量が「造林補助金申請書類に添付する施業図」の作成に適合するかどうかの実験・検証を行い、「ドローンによる施業図作成マニュアル」を作成。この取組をきっかけに大分県が造林検査用の「ドローンによる造林事業地確認ガイドライン」を作成するに至った。 さらに、測量成果を容易に作成するためのソフトを（株）ジッタと協力して完成させた。 ドローンを使った測量により従業員の作業負担の軽減が期待されている。	

◆ 経営部門

● 新規性のある優れた経営の取組

【林野庁長官賞】

南佐久中部森林組合 (長野県)	
名称	「主伐後の再造林～保育 10 年保証制度」
概要	<p>主伐で得た収入から 21 万円/ha を森林所有者に負担してもらうことにより、森林組合が再造林に係る地拵えから下刈り（5 回）、除伐までの 10 年間の施業を行い、10 年生の山に育てて森林所有者に引き渡す制度を実施。獣害や自然災害のない限り、森林所有者の追加負担のない契約としており、平成 28 年度の制度開始以降、高い再造林率を維持することにつながっている。</p>

年度	主伐面積 (ha)	再造林面積 (ha)	再造林率 (%)
H26	~5	~1	~20
H27	~15	~8	~53
H28	~28	~22	~79
H29	~35	~24	~69
H30	~25	~18	~72
R元	~42	~32	~76
R2	~30	~20	~67

※平成 28 年度から「主伐後の 10 年保育保証制度」での再造林を開始。

【全国林業改良普及協会会長賞】

株式会社迫田興産 (鹿児島県)	
名称	「自社での一貫型作業システムによる再造林推進」
概要	<p>もともとは素材生産業者であったが、再造林が進んでいない近年の状況を踏まえ、独自の機械化の推進・一貫作業の導入・苗木生産（スギ・コウヨウザンのコンテナ苗）・民有林の集約化を行い、自社内で苗木生産から主伐まで完結する一貫型作業システムの仕組みを作った。</p> <p>これにより低コスト林業を行い、収益を増やすことで森林所有者の造林への関心を高め、再造林の向上へつながる取組となっている。</p> <p>本取組により年間を通して事業を効率的に行うことが期待できる。</p>

海外製 8 輪駆動ハーベスタを導入

自社でスギ・コウヨウザンのコンテナ苗を生産

●異分野連携の取組

【全国林業改良普及協会会長賞】

障害福祉サービス事業所 樹の実園 (大分県)	
名称	「林福連携苗木生産者支援事業(スギ挿し木用穂木生産)」
概要	<p>労働力不足が課題となっている苗木生産業者と福祉事業所が連携を図り、挿し木用穂木の生産と障害福祉サービス事業所の新たな仕事を確保する取組を行った。</p> <p>福祉事業所では事業所の利用者が採穂可能な市有林にて挿し木用穂木(荒穂)を安全確保しつつ採取し、下枝など不要部分を取り除いて、苗畑に挿せる状態(整穂)まで仕上げて苗木生産業者に買い取りしてもらう。</p> <p>苗木生産業者は山採り作業が軽減され、障害福祉サービス事業所は利用者の計画的な仕事の確保につながった。</p>



福祉事業所利用者による挿し木用穂木(荒穂)の採取



苗畑に挿せる状態(整穂)にまで仕上げ、苗木生産業者に買い取りをしてもらう